

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成24年度第3回 第4分科会（教育分野）
日時	平成24年11月5日（月） 午後5時55分～午後8時05分
場所	江南市役所 2階 大会議室（南）
出席者	市民委員 梶田 福好、川口 邦彦、柴田 熙、津田 喜代治、丸井 ささぐ、水野 勲 森崎 芳子、
	市職員 武馬 健之、伊神 真一
議題	1. 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について 2. 施策評価の結果について 3. その他
資料	資料1 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨 資料2 平成23年度施策評価の結果

◆ 会議結果 ◆

1. 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について

- ・江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について、事務局より説明がありました。
- ・非行の実態を把握しているのかについて質問があり、江南警察より補導件数の報告を受けているが、補導内容までは把握していないとの説明がありました。
- ・補導件数について質問があり、平成23年度は、全体で953件、その内訳として小学生5件、中学生228件、高校生372件、大学生及び専門学校生25件、有職者175件、無職者148件であるとの説明がありました。
- ・警察が補導の状況を学校に伝えないのは、本人の立ち直りを促したり、プライバシー保護の観点からの配慮があるのではとの意見がありました。
- ・非行の内容を把握し、どのような傾向があるかについて分析をすれば、それぞれの事例に対する対策を検討することができるのではないかと意見がありました。
- ・非行への対応について、学校が深く介入できない状況ではあるが、大津のいじめ事件など学校現場に警察が入ってきている事実もある。いじめ、非行など悪いことをしたら罰せられることを子どもたちに知らせることも重要ではないかと意見がありました。
- ・まちをつくっているのは、人であり、子ども達をきちんと育てていかなければならないのは、家庭の責任でもあるが、地域の責任でもある。学校、家庭、警察がそれぞれ対処するのではなく、地域が一体となって不登校や非行の問題に対応していくのが重要ではないかと意見がありました。
- ・放課後子ども教室の開催場所について質問があり、古知野南小学校、布袋小学校、宮田小学校、藤里小学校において実施しているとの説明がありました。
- ・中学生向けにも放課後に気軽に集える場所があると良いのではないかと意見がありました。
- ・公民館で「こども学級」が開催されているが、屋外での自然体験型の教室が無い。自然の中での生き物とのふれあいを通して、命の尊さを学ぶ教室があると良いとの意見がありました。
- ・犬山市の「子ども大学」など他市町では、多種多様な子ども向けの生涯学習教室がある、江南市でも生涯学習講師人材バンクに登録されている講師の方々を活用した、子どもの居場所づくりと生涯学習のきっかけづくりをする、このような企画をしてみてもどうかとの意見がありました。

- ・生涯学習講師人材バンクの冊子について質問があり、公民館、小学校、交通児童遊園、子育て支援センター、保健センター、市子連に配布し、講師への依頼があれば生涯学習課を通して調整をしているとの説明がありました。また、講師の依頼件数については、平成 23 年度が 28 件、平成 24 年度は 10 月末現在で 35 件の依頼があり、昨年と比べ増加傾向にあるとの説明がありました。
- ・男女共同参画に対する市の取り組みについて質問があり、男女共同参画宣言都市として愛知県で最初に宣言をした後、基本計画の策定をし、重点取組として審議会などにおける女性委員の登用率の向上を掲げ、講演会やセミナーなど様々な機会を通して、男女共同参画の必要性を啓発しているとの説明がありました。
- ・男女共同参画講演会やセミナーなどの開催状況について質問があり、アナウンサーの笠井信輔さんを講師に招いて、市民文化会館大ホールで開催した男女共同参画講演会に 1,280 人、男女共同参画のつどいに 450 人、男女共同参画セミナーに 166 人、自立講座に 23 家族の参加があったとの説明がありました。
- ・江南市の女性管理職の状況について質問があり、課長職に 3 名が配置されているとの説明がありました。
- ・PTA や子ども会の役員には女性が多いが、地区の役員になると非常に少ないとの意見があり、従来 PTA 会長は男性が務めるケースが多かったが、最近では女性が PTA 会長を務めているケースが増えてきているとの説明がありました。
- ・江南市でも女性の校長が 3 名見えるが、少ないとの意見がありました。
- ・西洋社会ではレディーファーストが定着し、女性にやさしいことが習慣となっているが、後進国では男性優位で男尊女卑である。先進国では女性の地位も高く、男性の協力も多いので、男女共同参画に対する意識が変わっていくことは、その推進に大きく貢献するとの意見がありました。
- ・男女共同参画講演会では、女性が 980 人、男性が 300 人の参加があり、また、男女共同参画のつどいでは、女性が 340 人、男性が 110 人の参加があり、男女共同参画に関連するイベントでは女性の参加が圧倒的に多いとの説明がありました。
- ・男女共同参画の意識を高めるため、講演会などを継続的に開催する必要があるとの意見がありました。
- ・江南市が男女共同参画宣言都市として宣言した理由について質問があり、愛知県でいち早く宣言をすることで、県内における男女共同参画の推進を高めていく意思表示をすることに意義があるとの説明がありました。
- ・イベントなどに家族そろって参加する若い世代の男性をよく見かけるとの意見があり、男性が育児休暇を取得し、女性の社会進出に協力する「イクメン」と呼ばれる男性が少しずつ増えてきているのは、男女共同参画社会への理解が浸透してきたことによるとの説明がありました。
- ・議事要旨については、原案のとおり了承されました。

2. 施策評価の結果について

〔柱 4〕豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実

〔施策①〕芸術文化の振興

- ・市内に小さなギャラリーが多く点在しているが、そこで開催されている展示会などを市民に周知すれば市民の文化芸術関心度が上がるのではないかとの意見がありました。
- ・市民文化会館の稼働率の基準値が 47.8%であり 50%に満たない状況であるが、年間半分は利用がないのかとの質問があり、稼働率の対象施設を大ホールと小ホールにしており、土・日のホールの利用は多くあるが、平日の利用は少ない。そのため、現在、割引制度の活用を PR し利用促進を図っているとの説明がありました。
- ・市民文化会館の中にはホール以外に会議室などの施設もあるため、文化会館の施設の稼働率の指標としてはホールの稼働率とそれ以外の施設を分けて稼働率の指標を管理した方が良いのではとの意見があり、指標の追加などの見直しについては、後期計画の見直しにあわせて検討することができるとの説明が事務局よりありました。

- ・市民文化会館は指定管理者制度により運営されているが、市が補助することはないかとの質問があり、指定管理料と利用料金などの収入により運営がされているとの説明がありました。また、指定管理料は年間7,340万円で5年間の契約になっているとの説明がありました。

【施策②】文化財の保護

- ・市の指定文化財になると補助金が出るのかとの質問があり、文化財保護の助成をしており、また、報光寺本堂は国の登録有形文化財であるため、改修に係る補助の一部は国からの補助になるとの説明がありました。
- ・浸水マップは、全世帯に配られているが、文化財マップは配られることもなく、存在すら知らない人がいる。市内の貴重な文化財を市民に知っていただくためにも、文化財マップを活用して積極的にPRする必要があるのではないかとの意見があり、文化財に興味があり、生涯学習課に見えた方には配付しているとの説明がありました。

【施策③】国際・国内交流

- ・世界平和を願うパネル展の展示会場について質問があり、平成23年度の実績では7月29日から8月12日まで市民文化会館で開催し、8月8日から12日まですいとびあ江南でも開催したとの説明がありました。
- ・パネル展の展示内容について質問があり、広島・長崎の原爆の悲惨さを伝えるパネルだけでなく、最近の紛争地域の現状を伝えるパネルなど平和に関する展示をするとともに、ボランティア団体の協力を得ながら「その日はいつか」といった平和に関する朗読劇も行い、多くの方に参加いただいているとの説明がありました。
- ・世界の貧困や学校に行くことができず、文字の読み書きすらできない世界がある状況を伝えることも世界平和に繋がるとの意見があり、現状を正しく把握することや過去の事実を両方伝えることが、世界平和を進めていく上では重要であるとの説明がありました。
- ・市内の全市立中学校で原爆パネル展を開催していることは、非常に評価できるとの意見がありました。
- ・言葉の壁や習慣の違いで戸惑っている外国人の子どもを対象とした日本語教室などの支援活動は授業として実施しているのかについて質問があり、藤里小学校の余裕教室を活用し、放課後の学習指導として実施しているとの説明がありました。また、国際交流協会のふくらの家でも同様な支援活動を実施しているとの説明がありました。
- ・江南団地の中にも支援活動ができる場所があると良いのではとの意見があり、以前、集会所で活動していたが利用者も増え場所が手狭になったため、活動場所を藤里小学校に変更し、余裕教室を改造して国際交流ルームとして整備したとの説明がありました。
- ・日本語の語学力があまりない外国人の子どもに対しては、ふくらの家で重点的に指導しているとの意見がありました。また、江南市は生涯学習課と愛知江南短期大学との協力により外国人支援ボランティア養成講座を開設し、外国人の子どもを支援するボランティアが増え、活発に活動がされており、評価できるとの意見がありました。
- ・市で人を雇い、授業で外国人の子どもを支援することをしていないのかについて質問があり、宮田中学校と藤里小学校に対応する教員を1人ずつ配置し、日本語教室において実施しているとの説明がありました。

3. その他

- ・第3回の会議議事要旨を後日郵送するので、内容を確認していただき、意見があれば事務局へ連絡して欲しいとの説明が事務局よりありました。
- ・全体会議の日程について、次のとおり説明がありました。

日 時 12月27日(木) 午後1時～

場 所 市役所 2階 大会議室

出席者 柴田会長、森崎副会長、武馬教育課長